様式３(2020.08改)

作成日　令和 ５ 年 ３ 月　３１日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393600057
事業所名	グループホームえんなり

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	地域交流は自粛し近隣や神社、公園など車椅子・散歩で、挨拶を交わしている。散歩やホームでの暮らしの中で季節ごと利用者の行きたい場所を話し合い、次回の楽しみとしている。現状では地域との交流は難しい、地元の社寺を訪問したり、限られた人数で感染対策を講じて近隣に出かけたりしている。また、利用者は屋上庭園の散歩や花壇を整備したり、複合施設NEXUS内で必要な往来は継続して行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は年6回開催し、区長、民生委員、市役所職員、地域包括支援職員、家族代表が参加。入居者・待機者の状況、活動内容、事故・ヒアリハット、行事予定などを書面で報告している。報告書の内容が充実してきており、今後の活動に期待出来る。コロナ禍にある現状では対面会議は難しいため書面開催になっている。メンバーからの意見を貰える工夫や内部会議などを充実させ、サービスの質向上に繋げる取り組みを始めたところである。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	管理者は江南市のグループホーム管理者会議、認知症部会、介護事業者連絡会に参加し、情報の収集している。日常的には運営推進会議、認定更新の機会や地域包括センターとは電話にて相談など連携は図られている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	運営推進会議では質問票を配布し意見を吸上げ、家族訪問時、請求書の発送時に「入居者様状況報告」を届けている。この機会に、家族の要望や意見を聞き必要に応じて電話で聞き出している。職場のコミュニケーションも良く職員会議などでは自由に発言、皆で考え実践し運営に反映させている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

備考欄】

令和２年３月２４日までは運営推進会議を開催していたが、コロナ流行のため令和４年３月、５月、７月、９月、１１月、１月各月は、市の指示に従い「書面開催」として案内を出し、必要な連絡・資料送付を行っている。

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価				○	×	×	○	×	×	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○								